

## 海運大手 3 社が定期コンテナ船事業統合を発表 - 格付には直ちに影響しないが、統合効果や財務面への影響を注視

以下は、外航海運大手 3 社（日本郵船株式会社（証券コード：9101）、株式会社商船三井（証券コード：9104）、川崎汽船株式会社（証券コード：9107））の定期コンテナ船事業統合についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### 見解

- (1) 本日、日本郵船、商船三井、川崎汽船の 3 社は、新たに定期コンテナ船事業統合を目的とした合弁会社を設立し、3 社の定期コンテナ船事業を統合することを公表した。新合弁会社はグローバルシェア約 7% に相当し、業界第 6 位に位置付けられる事業規模となる。また、シナジーの創出とスケールメリットの活用により、年間約 1,100 億円の統合効果を実現できるとしている。
- (2) 厳しい海運市況が続く中、各社の業績悪化の主因であるコンテナ船事業の統合は、抜本的な収益改善に向けた取り組みとして評価できる。ただ、持分法投資損益を通じてコンテナ船事業の収益が各社の業績に反映されるため、実態として現状から大きく変わるものではなく、直ちに各社の格付に影響するものではないと考えている。コンテナ船の船腹過剰解消には時間を要する見通しであり、厳しい事業環境の下で統合効果を発現して収益改善を実現できるか注視していく。また、各社の物流事業への影響や合弁会社設立後の各社の財務状況などについても確認しながら格付に反映させていく。

（担当）水川 雅義・小野 正志

### 【参考】

発行体：日本郵船株式会社  
長期発行体格付：#A+/初'ティブ'

発行体：株式会社商船三井  
長期発行体格付：A-                   見通し：ネガティブ

発行体：川崎汽船株式会社  
長期発行体格付：#BBB+/初'ティブ'

### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

本件に関するお問い合わせ先  
情報サービス部   TEL：03-3544-7013   FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル